

## GPS/JIPS 安全性要約書

### 1. 物質名 (SUBSTANCE NAME)

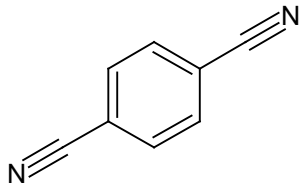
テレフタロニトリル (CAS 番号 623-26-7)

### 2. 物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

テレフタロニトリルは白灰色の粉末です。空気中に飛散したとき、爆発的に燃焼する可能性があります(粉塵爆発)。そのため、本製品の保管場所は火気厳禁とし、直射日光、着火源を避け、風通しの良い、湿気の少ないところに保管して下さい。

また、本製品の取扱いでは、帯電防止措置、着火源を取り除き、防爆型の機器を使用して下さい。人体に有害であり、眼に対しては刺激があります。また、飲み込んだり、吸入すると臓器の障害のおそれ(中枢神経系、胃)があります。そのため、換気の良い場所で、適切な保護具を着用し、眼の保護、吸入の防止を図る必要があります。

### 3. 化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	内容
化学名又は一般名	テレフタロニトリル
製品名	テレフタロニトリル(TPN)
CAS 番号	623-26-7
その他の番号	官報公示整理番号 化審法:(3)-1799 安衛法: 既存化学物質
化学式等	C <sub>8</sub> H <sub>4</sub> N <sub>2</sub>
構造式	
出典・備考	株式会社レゾナック発行の SDS 第 3 項

### 4. 使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

主な用途	弊社の製造するテレフタロニトリルは医農薬中間体原料等に用いられます。
------	------------------------------------

### 5. 物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

テレフタロニトリルは粉じん爆発の恐れがあるため、粉じんの発生、堆積を最小限に抑えるとともに、使用時は静電気放電に対する予防措置(接地、設備投入時の窒素置換、作業場付近の加湿等)、着火源の除去(防爆型の危機の使用等)、強酸化剤、強塩基との接触を避ける必要があります。

外観	粉末
色	白色
融点/沸点	224°C / データなし
蒸気圧	0.027 kPa (100°C)
相対密度	1.29
水への溶解度	8160 mg/L (25°C)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.93

その他データ	爆発限界 (vol %): 15 - 20 g/m <sup>3</sup> 、20mg/l (参考値: 1994 年 (財)総合安全工学研究所) 限界酸素濃度: 11- 12%、10% (25°C、湿度: 58%) (参考値: 1994 年 (財)総合安全工学研究所)
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第9,10項

## 6. ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

危険有害性項目	GHSによる分類結果および評価コメント
急性毒性 (経口)	区分 4 飲み込むと有害
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない(非該当)
急性毒性(吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B 眼刺激
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2 臓器の障害のおそれ(中枢神経系、胃)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第2,11項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 世界的に統一されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報をラベルで表示し、安全データシートを提供したりするシステムです。</li> <li>・区分に該当しない(非該当): GHSで定義される物理的性質に該当しないため、当該区分での分類の対象となっていません。</li> <li>・区分に該当しない: GHS分類を行うのに十分な情報が得られており、分類を行った結果、GHSで規定するいずれの区分にも該当しないと考えられます。</li> <li>・分類できない: 分類を確定するための十分に信頼性のあるデータがなく、分類できません。</li> </ul>	

## 7. 環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

危険有害性項目	GHSによる分類結果および評価コメント
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第2,12項

環境中の運命・動態	
土壌中の移動性	情報なし
残留性・分解性	分解度試験(14日間) 難分解性
生体蓄積性	濃縮度試験 低濃縮性(BCF=<1.4~2.0)
PBT/vPvBの結論	PBT(環境中に残留し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する)、vPvB(環境中に非常に残留し、非常に高い生物蓄積性を有する)には該当しないと考えられます。
出典・備考	株式会社レゾナック発行のSDS第12項

## 8. ばく露 (EXPOSURE)

詳細	ばく露の可能性
作業者ばく露	ばく露は製造設備か、当該物質を使用する様々な産業設備で発生しますが、いずれも管理されたばく露のある閉鎖系プロセスであり、大気放出の可能性がほとんどないため、労働者のばく露は比較的低いです。ただし、サンプリング作業、充填作業、移送作業等を行う場合は、吸入や皮膚・眼との接触の可能性があります。
消費者ばく露	当該製品は、一般消費者にて直接使用されることはありません。
環境ばく露	当社製品は、通常、閉鎖系プロセスで製造され、使用されるので、環境中への放出の可能性は限定的です。
注意事項	他の用途におけるばく露の可能性がある場合、推奨するリスク管理措置を参考に適切な措置を実施して下さい。

## 9. 推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

推奨するリスク管理措置により、8項のばく露シナリオによる作業者、消費者及び環境に対するリスクは、最小化可能と考えられます。

詳細	推奨するリスク管理措置
作業者	技術的対策・局所排気・全体換気： 当社製品の製造・貯蔵または取扱う場所には、局所排気装置を設置して下さい。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置して下さい。容器を接地し、アースをとって下さい。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用して下さい。火花を発生させない工具を使用し、静電気放電に対する予防措置を講じて下さい。
	許容濃度： 設定されていません。
	保護具： 作業の際は、状況に応じ防塵マスク、簡易防塵マスク等の呼吸用保護具、及び皮膚及び身体への接触を避けるためにゴム手袋（静電気対策品）、保護服、保護長靴、保護前掛け（静電気対策品）、眼への刺激を避けるために保護眼鏡（ゴーグル型）、保護面を着用して下さい。
	注意事項： 作業責任者は、作業者に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法などの教育をして下さい。
消費者	当該製品は、一般消費者にて直接使用されることはありません。
環境	適切な排水処理施設や排ガス処理施設を設置する。また、漏洩防止策を講じ、定期的な排出量の確認、日常管理、取扱いに注意して下さい。
特記事項（漏出時の緊急措置など）	人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 作業の際には、ゴム手袋（静電気対策品）、保護眼鏡（ゴーグル型）、保護面、保護服、保護長靴、保護前掛け（静電気対策品）を着用し、眼及び顔面への接触、皮膚付着を防いで下さい。状況に応じ防塵マスク、簡易防塵マスク等の呼吸用保護具を着用して下さい。大規模漏出の場合、漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止して下さい。風上から作業し、風下の人を退避させて下さい。粉じんは火災爆発を引き起こす可能性があります。粉じんを生じさせない、全ての着火源を速やかに除くとともに、消火剤（水、粉末、二酸化炭素、泡消火器）を準備して下さい。防爆型の機器を使用して下さい。
注意事項	環境に対する注意事項： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意して下さい。帯電防止シート等で覆い、飛散、拡大を防止して下さい。

	い。封じ込めの方法は、漏洩物を真空掃除するか拭き取り廃棄容器に回収し、後で廃棄処理して下さい。
--	---

## 10. 政府機関のレビュー状況 (STATE AGENCY REVIEW)

国際機関、各国当局によるレビュー	
IPCS (国際化学物質安全性計画)	国際化学物質安全性カード 情報なし
OECD (経済協力開発機構)	高生産量化学物質(HPV chemicals)点検計画 情報なし
NITE-CHRIP (NITE 化学物質総合情報提供システム)	<a href="https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput">https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput</a>

## 11. 法規制情報/GHS分類情報・ラベル情報 (REGULATORY INFORMATION/GHS CLASSIFICATION AND LABELLING INFORMATION)

### 法規制情報

適用法令	規制状況
労働安全衛生法	通知対象物質ではありません
毒物及び劇物取締法	劇物・除外品目(指定令第2条) 有機シアン化合物/パラジシアンベンゼン及びこれ含有する製剤
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条) シアン化物
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4) シアン化合物を含有する特定有害産業廃棄物
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4) シアン化物
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	通知対象物質ではありません
土壌汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条) シアン化物

### GHS 分類情報

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2

### ラベル情報

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告

危険有害性情報	飲み込むと有害 (H302) 眼刺激 (H320) 臓器の障害のおそれ(中枢神経系、胃) (H371)
---------	---

## 12. 連絡先 (CONTACT INFORMATION)

会社名	株式会社レゾナック
住所	東京都港区芝大門 1-13-9
担当部門	機能性化学品事業部 特殊化学品部 ファンクショナルマテリアルズグループ
電話番号 / ファックス番号	03-6402-5080 / 03-5403-5730

## 13. 発行・改訂日、その他の情報

### (DATE OF ISSUE / REVISION, ADDITIONAL INFORMATION)

発行日： 2021年12月28日

改訂：

改訂日	改訂項目	改訂箇所	版
2023年 1月 1日	3,5,6,7,12,13	社名等変更	rev.2

記載の情報は、2023年1月1日 改訂版の安全データシート(SDS)に基づいています。

## 14. 免責条項 (DISCLAIMER)

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学品管理の取組み(GPS/JIPS: Japan Initiative of Product Stewardship)の一環として作成されたものです。安全性要約書の目的は、対象品に関する安全な取扱いに関する情報を概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全データシート(SDS)や化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。本安全性要約書は、発行時点で入手可能な法令、資料、情報等のデータに基づいて、できる限り正確な記載に努めておりますが、すべてのデータを網羅したわけではありません。また、いかなる保証をするものでもありません。